

# 福島県白河市の大規模データセンター「白河データセンター」が稼働開始 ～大型需要への対応とクラウドとストレージサービスの拠点として2号棟の増設も決定～

2012年10月1日

ヤフー株式会社  
株式会社IDCフロンティア

---

## 福島県白河市の大規模データセンター「白河データセンター」が稼働開始 ～大型需要への対応とクラウドとストレージサービスの拠点として2号棟の増設も決定～

---

ヤフー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：宮坂 学、以下Yahoo! JAPAN）と、Yahoo! JAPANグループである株式会社IDCフロンティア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：真藤 豊、以下IDCフロンティア）は、最先端技術を集結し世界トップレベルのエネルギー効率を実現する福島県白河市の環境対応型大規模データセンター「白河データセンター」が2012年9月に竣工し、本日より稼働を開始いたします。

また、今後新たに需要が見込まれることから、2号棟（600ラック規模）を増設することも決定しました。2号棟については今月着工し、2013年9月末の竣工を目標としています。今後も需要に応じてモジュールを追加し、敷地内に6棟以上の建設を予定しております。

この度の白河データセンターの稼働により、大規模データセンターが首都圏、東日本、西日本の国内3拠点をバランスよくカバーすることになり、拡張余力の乏しい都市型データセンターからの大型移設需要に応えるとともに、万が一の災害に備えた首都圏以外でのバックアップやデータの広域分散を実現してまいります。また、Yahoo! JAPANグループのインターネット事業におけるインフラ基盤の強化を図り、クラウドコンピューティングやストレージサービスの東日本拠点として展開していくことを予定しております。



白河データセンター1号棟（右側は管理棟）

白河データセンターは、広大な敷地により拡張が容易な地方型データセンターの特長と、郊外型データセンターと同等のネットワークレスポンスを併せ持つデータセンターです。ネットワークの伝送路を最短経路で設計し、中継ノードをできる限り少なくすることにより、東京－白河間のレイテンシ\*1は3.5ミリ秒前後と東京近郊に位置するデータセンターと同等の応答速度で、東京－大阪間の約1/3、北海道・九州では約1/4、沖縄では約1/10と、物理的な距離に比例しない高速なネットワーク環境を提供します。

また、サーバーから出る排熱を冷やすための空調には、冷涼な外気をサーバールームに取り込んで冷却する外気空調方式を採用。「アジアン・フロンティア（福岡県北九州市）」での運用を通じて高度なノウハウをさらに進化させ、データセンター内の排熱の上昇気流も利用しながら温湿度に応じて全量の外気導入から内部循環まで、複数の空調モードをコンピュータ制御により自動運転して最適な環境を維持し、年間負荷の90%以上を外気での冷房を可能としています。これにより、データセンターで消費する電力の多くを占める空調電力を大幅に削減し、PUE1.2以下\*2を目指します。

|       |                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------|
| 名称    | 白河データセンター                                                                 |
| 場所    | 福島県白河市                                                                    |
| 工期    | 稼働開始：2011年9月着工～2012年9月末竣工（1号棟および管理棟）<br>建設着工：2012年10月着工～2013年9月末竣工予定（2号棟） |
| 敷地面積  | 約25,000平方メートル                                                             |
| 延床面積  | 約8,900平方メートル（1号棟および管理棟など施設含む合計）<br>・1号棟：約5,900平方メートル                      |
|       | ※第2期分の棟を含めた場合<br>・約14,800平方メートル（1～2号棟および管理棟など施設含む合計）<br>・2号棟：約5,900平方メートル |
| ラック数  | 約600ラック（1号棟）<br><br>※第2期分の棟を含めた場合<br>・約1,200ラック（1～2号棟の合計）                 |
| 建物構造  | 鉄骨造                                                                       |
| 規模    | 地上4階                                                                      |
| 床荷重   | ハウジングルーム1,000kg/平方メートル、UPS室2,000kg/平方メートル                                 |
| 受電能力  | 25メガボルトアンペア（第1期工事分）、最大50メガボルトアンペア                                         |
| 電気事業者 | 東北電力                                                                      |
| 空調方式  | 外気空調方式（年間負荷の90%以上を外気利用で賄う）                                                |

